FOR.A
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

取扱説明書

UF-106B

ユニバーサルフレーム

Universal Frame

UF-106BPS

パワーサプライユニット

Power Supply Unit

1st Edition - Rev. 3

株式会社　朋栄

使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。

[電源電圧・電源コード]

禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
プラグを抜く	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。

[設置]

必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。
注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

[内部の設定変更が必要なとき]

必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。

[使用環境・使用方法]

禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
禁止	通風孔を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から 5cm 以上離してください。

[運搬・移動]

注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。

[異常時の処置]

必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。

[ラック取り付金具、アース端子、ゴム足の取り付け]

必ず行う	ラック取り付金具、アース端子、ゴム足を取り付ける場合は、必ず付属の専用部品および付属のネジを使用し、それ以外のものは使用しないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。また、ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。

[消耗部品]

注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。

開梱および確認

このたびは、UF-106B ユニバーサルフレームをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

◆ **UF-106B 構成**

品名	数量	備考
UF-106B 本体	1	リアモジュール用ブランクパネルは オプションです。
電源ケーブル	1	
ロックフック	1	電源ケーブルの抜け止め金具
取扱説明書	1	（本書）

◆ **UF-106BPS 構成**

品名	数量	備考
UF-106BPS	1	リダンダント電源用 フロントユニット、リアユニット
電源ケーブル	1	
ロックフック	1	電源ケーブルの抜け止め金具
M3 x 6 バインドネジ	2	フロントユニット用
M3 x 10 バインドネジ	2	リアユニット用
取扱説明書	1	（本書）

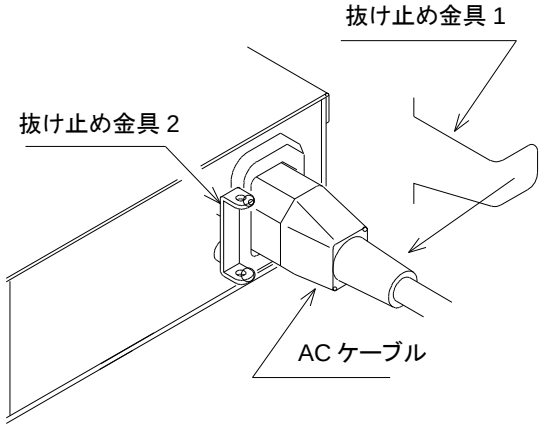
確認

もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者に連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

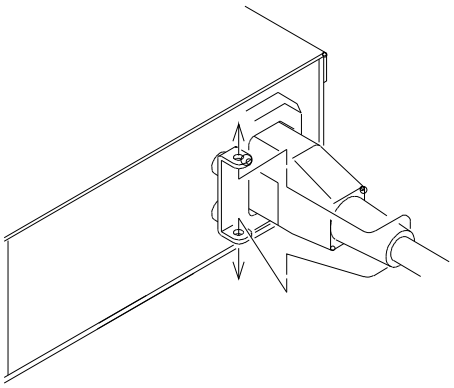
注意　本装置の性能を維持するために、重ねて使用しないでください。

AC ケーブル抜け止め金具の取付け

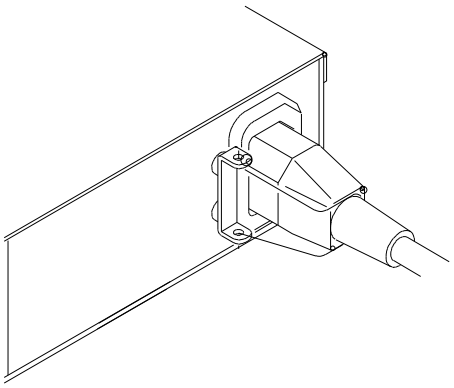
1) AC インレットに AC ケーブルをしっかり差し込みます。
2) 抜け止め金具 1 を AC ケーブルの横から通します。



3) 抜け止め金具 1 の両端を抜け止め金具 2 の穴に通します。



取付けが終了しました。



目 次

1. 概要および特長 1
1-1. 概要 1
1-2. 特長 1
1-3. この取扱説明書について 1

2. 各部の名称と機能 2
2-1. 前面パネル 2
2-2. 前面内部 2
2-3. スロット番号 3
2-4. 背面パネル 3
2-5. 冷却ファン 4
2-6. 電源ユニット 5
2-6-1. 電源フロントユニット 5
2-6-2. 電源リアユニット（標準電源） 6
2-6-3. 電源リアユニット（リダンダント電源） 7
2-7. GPI コネクタ 8
2-7-1. GPI コネクタ仕様 8
2-7-2. アラーム出力 9
2-7-3. 接続回路例 10

3. ユニットの取り付け 11
3-1. UFM モジュールの取り付け 11
3-1-1. UFM リアモジュールの取り付け 11
3-1-2. UFM フロントモジュールの取り付け 12
3-2. UFM-30CTL の取り付け 13
3-2-1. UFM-30CTL リアモジュールの取り付け 13
3-2-2. UFM-30CTL フロントモジュールの取り付け 14
3-2-3. 内部設定 15
3-2-3-1. 電源フロントユニットの取り外し 15
3-2-3-2. 電源フロントユニットの設定変更 16
3-2-3-3. 電源フロントユニットの取り付け 16
3-3. リダンダント電源（UF-106BPS）の取り付け 17
3-3-1. リダンダント電源リアユニットの取り付け 17
3-3-2. リダンダント電源フロントユニットの取り付け 18
3-4. フロントパネルの取り付け 18

4. 仕様と外観 19
4-1. 仕様 19
4-2. 外観 20
4-2-1. UF-106B 20
4-2-2. UF-106BPS 21

1. 概要および特長

1-1. 概要

UF-106B ユニバーサルフレームは、ローコスト、省スペースで自由にシステムを構築できるユニバーサルフレームです。
UFM モジュールを最大 6 モジュールまで実装できます。
オプションのリダンダント電源を取り付けることにより、運用時の安全性が向上します。

1-2. 特長

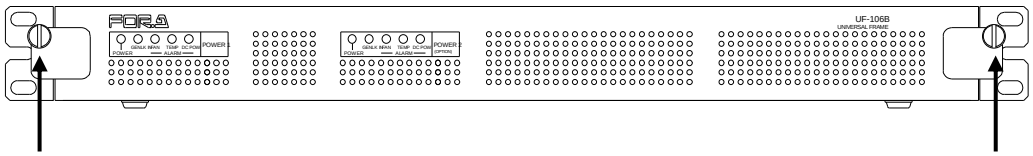
- システムに合わせ、UFM-30 シリーズを含む UFM モジュールを最大 6 モジュール（基板）まで実装可能。
- UFM-30CTL(コントロールカード) 実装可能。
- UF-106BPS を実装することにより、リダンダント電源（電源二重化）構成が可能。
  （UF-106BPS 実装時、実装可能な UFM モジュールは最大 4 モジュール）
- UF-106APS リダンダント電源を UF-106B で使用することが可能。また、UF-106BPS リダンダント電源を UF-106A で使用することも可能。
- 全てのモジュールは前面から交換可能。電源フロントユニットおよび UFM フロントモジュールはホットスワップ可能。
- アラーム検出（温度異常／FAN 停止／電源ユニット電圧異常）、ステータス表示（GENLOCK IN／電源）を前面 LED にて表示。
- アラーム情報出力として、アラーム情報を背面コネクタから出力可能。
  （接点出力アラーム 1 系統／オープンコレクタ出力アラーム 2 系統）
- ゲンロック入力 (BB または 3 値)は、ループスルーコネクタ 1 系統装備。
  （入力されたゲンロック信号は本機に実装した全ての UFM モジュールに供給可能）
- UFM-30CTL を使ったネットワーク制御が可能。
- EIA 標準 1RU サイズ。

1-3. この取扱説明書について

本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

2. 各部の名称と機能

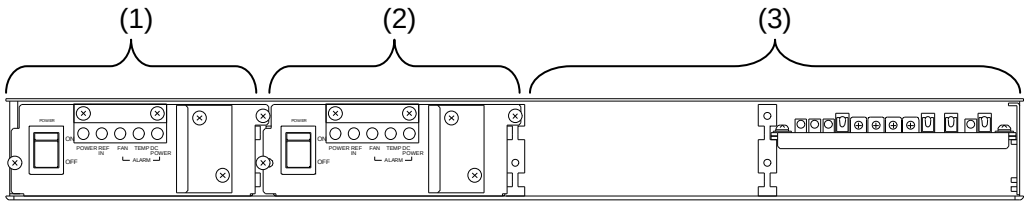
2-1. 前面パネル



フロントパネルを取り外す場合は、フロントパネル前面の 2 個のつまみネジを緩め、つまみネジをつかんで取り外します。

2-2. 前面内部

フロントパネルを取り外すと以下のようなスロット構成となっています。



(1) 電源専用スロット
電源フロントユニット用のスロットです。標準で電源ユニットが装備されています。

(2) 電源／モジュール共用スロット
リダンダント用電源フロントユニットまたは UFM フロントモジュール共用のスロットです。
UFM モジュールを 2 枚実装することが可能です。その場合、UFM モジュールは最大 6 枚まで実装できます。なお、リダンダント電源実装時、実装可能な UFM モジュールは最大 4 枚です。

> UF-106B には、2 台の電源ユニットが実装できます。リダンダント電源（UF-106BPS）はオプションです。
>
> 電源ユニットを 2 台実装し、2 台の電源スイッチを ON にすることによって、どちらか一方の電源フロントユニットにトラブルが発生したときに、本体に供給する電源を止めずに電源フロントユニットを交換することができます。

(3) モジュール専用スロット
UFM モジュール専用スロットです。
UFM フロントモジュールを実装します。電源ユニットは実装できません。
モジュールの実装方法、操作方法については、各モジュールの取扱説明書を参照してください。

2-3. スロット番号

スロット番号は、前面から見て、右側からスロット 1、2、3…7 となります。

・電源ユニット　1 台実装時

<table>
<tr><td rowspan="2">7
（POW1）</td><td>5</td><td>3</td><td>1</td></tr>
<tr><td>6</td><td>4</td><td>2</td></tr>
</table>

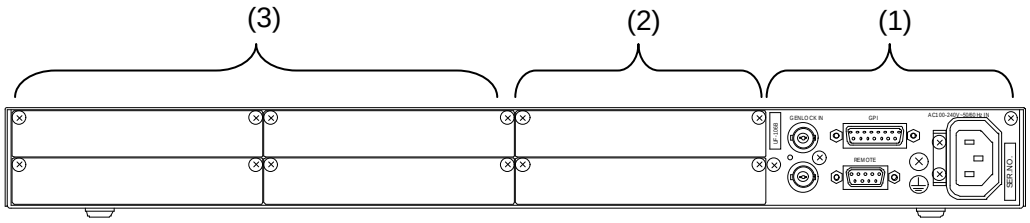
・電源ユニット　2 台実装時

<table>
<tr><td rowspan="2">7
（POW1）</td><td rowspan="2">6
（POW2）</td><td>3</td><td>1</td></tr>
<tr><td>4</td><td>2</td></tr>
</table>

（リダンダント電源実装時、実装可能な UFM モジュールは最大 4 モジュールとなります。）

2-4. 背面パネル

背面パネルは以下のようなスロット構成となっています。



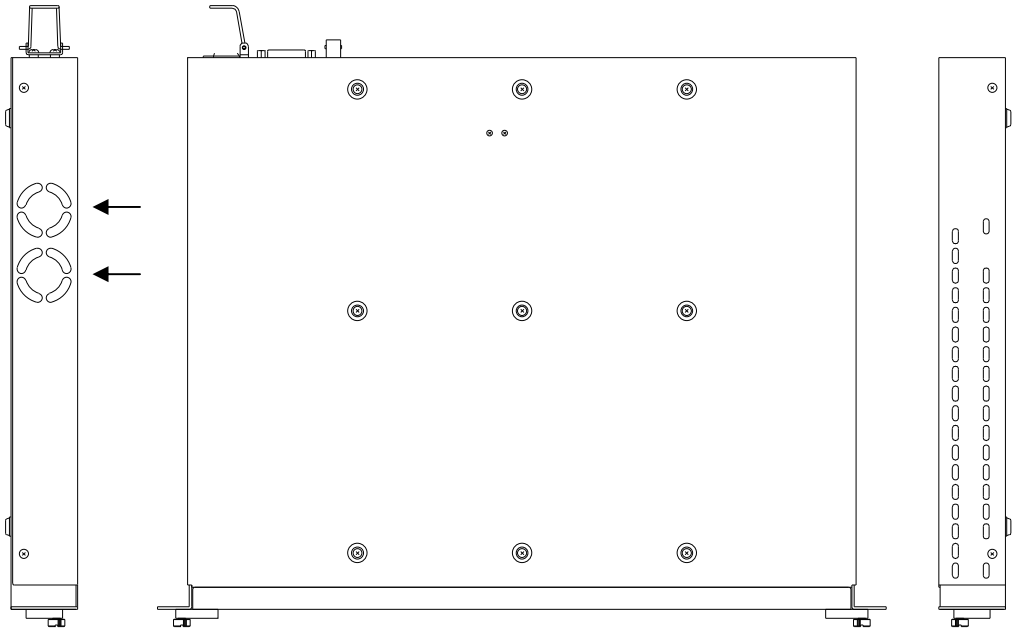
(1) 電源専用スロット
電源リアユニット用のスロットです。標準で電源ユニットが装備されています。

(2) 電源／モジュール共用スロット
リダンダント用電源リアユニットまたは UFM リアモジュール共用のスロットです。

(3) モジュール専用スロット
UFM モジュール専用スロットです。
UFM リアモジュールを実装します。電源ユニットは実装できません。

2-5. 冷却ファン

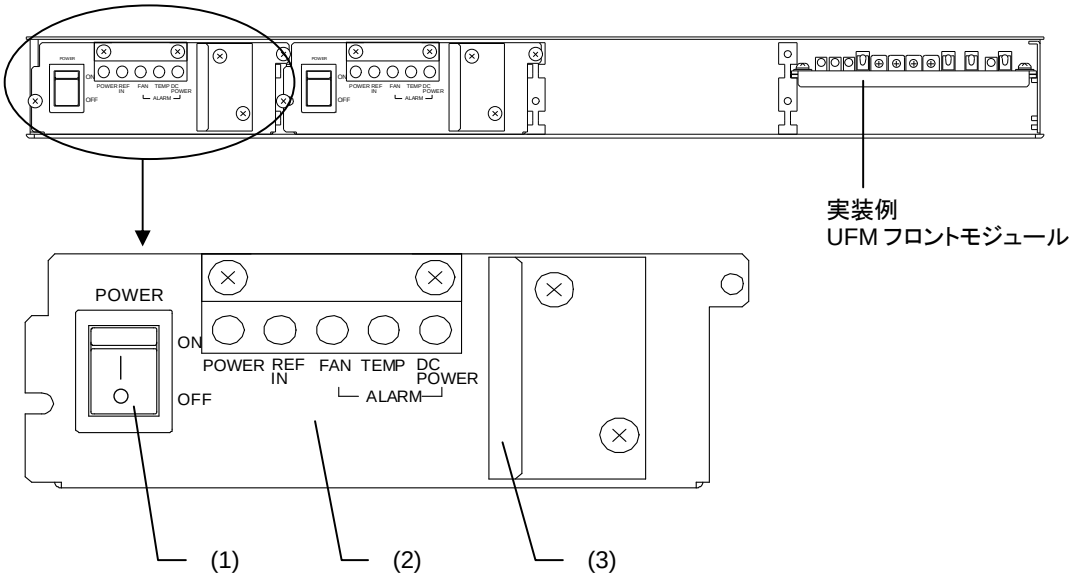
内部の発熱による温度上昇を押さえるためのファンです。冷却に影響するため、両側面を塞がないように注意してください。



（フロントパネル）

2-6. 電源ユニット

2-6-1. 電源フロントユニット

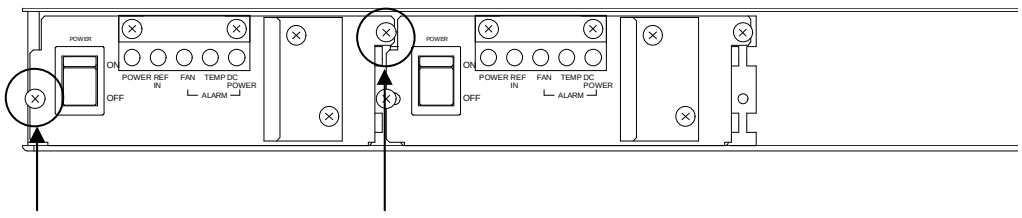


(1) 電源スイッチ
電源スイッチです。「｜」側に倒すと電源が入ります。

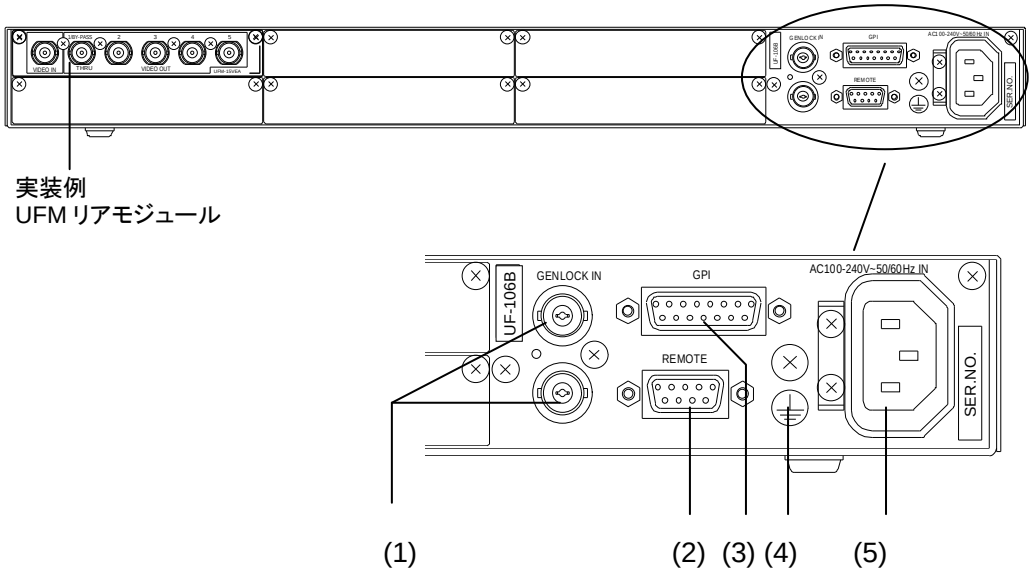
(2) ステータスランプ

LED	説明	
POWER	緑点灯	DC 電源が正常に動作しています。
REF IN	緑点灯	背面パネル GENLOCK IN 端子に外部同期信号（BB、3 値）が入力されています。
FAN	消灯	冷却ファンはすべて正常に動作しています。
	赤点灯	冷却ファンのひとつにあるいはそれ以上に異常があります。電源を切り、必要な場合はファンを交換してください。
TEMP	消灯	電源ユニットの温度は正常です。
	赤点灯	電源ユニットの温度が異常です。必要な場合は電源ユニットを交換してください。
DC POWER	消灯	電源ユニットの電圧は正常です。
	赤点灯	電源ユニットの電圧が異常です。必要な場合は電源ユニットを交換してください

(3) 電源ユニット引き出しレバー
電源ユニットを取り外す場合は、電源ユニット前面の 2 個のネジを取り外し、引き出しレバーを引いてください。



2-6-2. 電源リアユニット（標準電源）



(1) GELOCK IN 端子（自動終端）
ゲンロック信号の入力コネクタです。
基準となるブラックバースト(BB)、または 3 値シンク信号を入力します。
ループスルーで接続する場合は、もう一方のコネクタから他の機器へ接続します。
（自動的に終端が外れます）
ループスルーで接続しない場合は、自動的に 75Ω 終端されます。

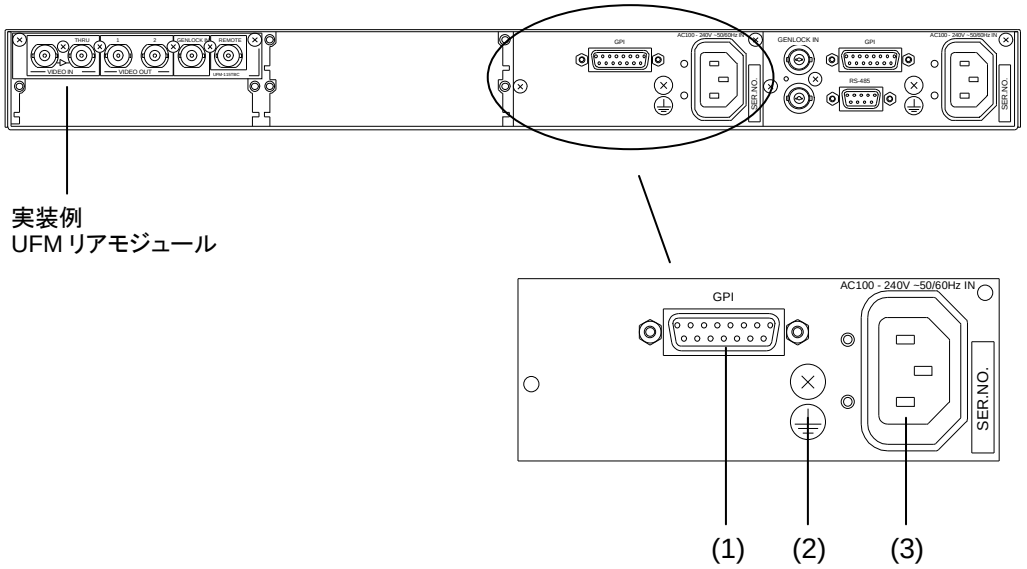
(2) REMOTE
未使用です。

(3) GPI 端子
電源、ファン、温度の異常時に外部へアラーム信号を出力します。
GPI 端子の詳細仕様については、「2-7.GPI コネクタ」を参照してください。

(4) アース端子
安全に使用して頂くために、接地して使用してください。

(5) AC 電源入力
付属の AC ケーブルで AC 電源(AC100～240V ±10%, 50/60Hz)を入力してください。

2-6-3. 電源リアユニット（リダンダント電源）



(1) GPI 端子
電源、ファン、温度の異常時に外部へアラーム信号を出力します。
GPI 端子の詳細仕様については、「2-7.GPI コネクタ」を参照してください。

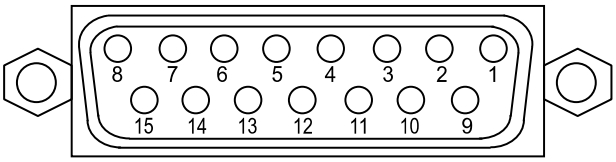
(2) アース端子
安全に使用して頂くために、接地して使用してください。

(3) AC 電源入力
付属の AC ケーブルで AC 電源(AC100～240V ±10%, 50/60Hz)を入力してください。

注意	UF-106B の標準電源および UF-106BPS リダンダント電源を、UF-106A フレームに使用することは可能ですが、UF-106 フレームに使用することはできません。また、UF-106 の標準電源、UF-106PS リダンダント電源を UF-106A、UF-106B フレームに使用することはできません。電源交換について詳しくは販売代理店にご相談ください。

2-7. GPI コネクタ

2-7-1. GPI コネクタ仕様



D-sub15 ピンメス

適合コネクタ：
D-sub15 ピンオス
DA-15PF-N（JAE）
カバー ：
金属フード
ショートスクリュー
DA-C4-J10-S1（JAE）
インチネジ使用

GPI コネクタ端子配列表（D-sub 15 ピンメス）

番号	信号名	信号内容	番号	信号名	信号内容
1	+24V	DC+24V 出力 (*1)	9	+24V	DC+24V 出力 (*1)
2	GND	GND	10	GND	GND
3	GND	GND	11	ALARM2	電源アラーム (*2)
4	ALARM1	ファンアラーム (*2)	12	GND	GND
5	COM	アラームコモン	13	POWALM -	接点アラーム コモン (*3)
6	POWALM +	接点アラーム ＋ (*3)	14	N.C.	N.C.
7	N.C.	N.C.	15	N.C.	N.C.
8	N.C.	N.C.			

(*1) DC+24V を出力します。1 ピン当たりの最大電流は 125mA 以下にしてください。
1 ピンと 9 ピンを使用することで、最大電流 250mA 出力することができます。

(*2) オープンコレクタ出力。最大定格：DC 24V / 50mA

(*3) 電源ユニットの電源電圧異常およびファンの停止、電源ユニット温度異常の場合に、6 ピンの「接点アラーム +」と 13 ピンの「接点アラーム コモン」間がショートします。
最大定格：DC24V / 0.5A

2-7-2. アラーム出力

各ユニット・基板の状態による GPI コネクタ出力と前面 LED の状態を下記に示します。

◆ **標準電源のみの場合**

電源 ON/OFF		OFF	ON			
ファン動作			○	×	○	○
電源ユニット温度			○	○	×	○
電源出力電圧			○	○	○	×
前面 LED の状態	POWER	－	緑	緑	緑	緑
	GENLOCK IN	*1	*1	*1	*1	*1
	FAN	－	－	赤	－	－
	TEMP	－	－	－	赤	－
	DC_POWER	－	－	－	－	赤
ALARM1		オープン	オープン	0V	オープン	オープン
ALARM2		オープン	オープン	オープン	オープン	0V
POWALM＋, POWALM－の状態		ショート（導通）	オープン（導通なし）	ショート（導通）	ショート（導通）	ショート（導通）

○：正常、×：異常、－：消灯

*1：GENLOCK IN の信号状況による。

◆ **リダンダント電源実装の場合（もう一方の電源が ON のとき）**

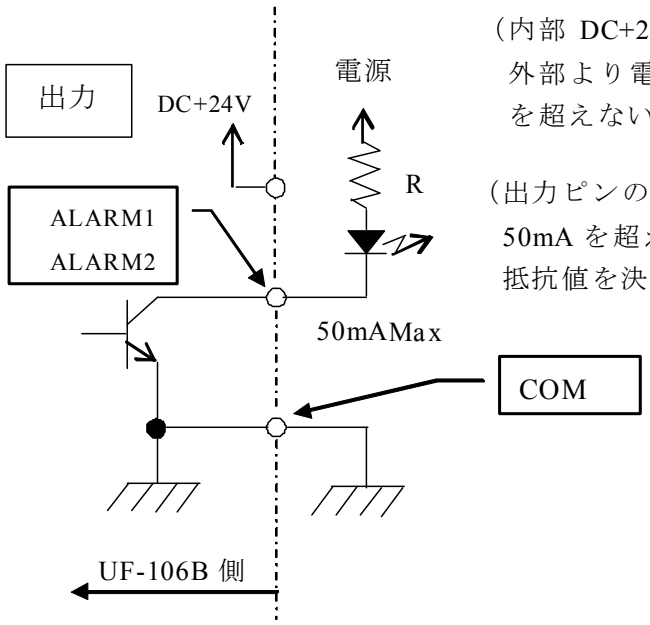
電源 ON/OFF		OFF			ON
ファン動作		○	×	○	標準電源のみの場合と同じ
電源ユニット温度		○	○	×	
電源出力電圧		未出力			
前面 LED の状態	POWER	緑	緑	緑	
	GENLOCK IN	*1	*1	*1	
	FAN	－	赤	－	
	TEMP	－	－	赤	
	DC_POWER	赤			
ALARM1		オープン	0V	オープン	
ALARM2		0V	0V	0V	
POWALM＋, POWALM－の状態		ショート（導通）	ショート（導通）	ショート（導通）	

○：正常、×：異常、－：消灯

*1：GENLOCK IN の信号状況による。

2-7-3. 接続回路例

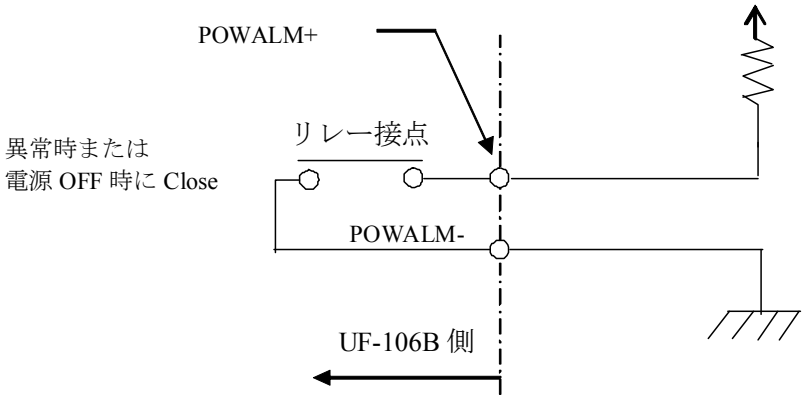
◆ **ALARM1・ALARM2（オープンコレクタ出力）の回路例**



（内部 DC+24V 電源を使用するか、または外部より電源を供給する場合は DC+24V を超えない電圧で使用して下さい。）

（出力ピンの電流値が 50mA を超えないように抵抗値を決定してください。）

◆ **POWALM（接点出力）の回路例**



定格電圧	定格電流
DC24V	0.5A

3. ユニットの取り付け

⚠ 注意	静電気による UFM モジュールの破壊にご注意ください。 UF-106B の筐体と人体を同電位にするために静電気破壊防止用の人体アースをとって、基板の配線や部品の足などに直接に触れないようにして作業してください。

3-1. UFM モジュールの取り付け

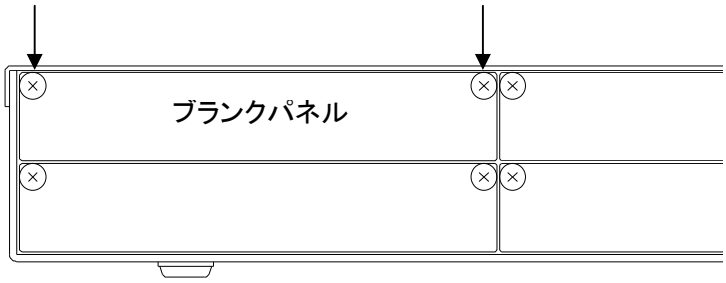
UFM モジュールは、空いているどこのスロットに取り付けてもかまいません。スロットに余裕がある場合は、詰めずに間隔を空けた方が、内部の温度上昇を防止し、また背面パネルからの信号の接続作業が行い易くなるなどのメリットがあります。

注意	UFM モジュールはフロントとリアがセットになっています。フロントモジュールとリアモジュールは、必ず同じ位置のスロットに取り付けてください。 UFM フロントモジュールは電源を入れたままの取り付けが可能です。UFM リアモジュール取り付けの場合は必ず電源を OFF にして行ってください。 空きスロットにはブランクパネルを必ず付けてください。 異物の混入や、内部温度上昇を防止するなどのメリットがあります。

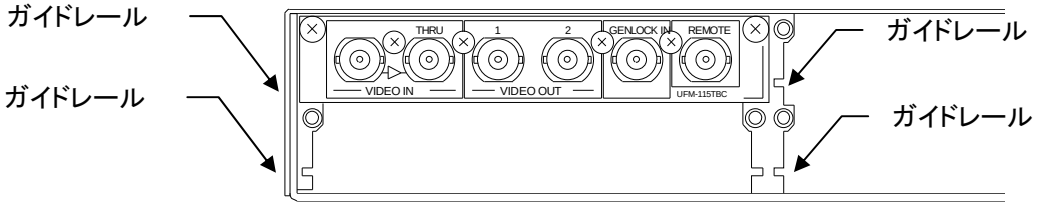
3-1-1. UFM リアモジュールの取り付け

(1) UF-106B の電源を OFF にします。

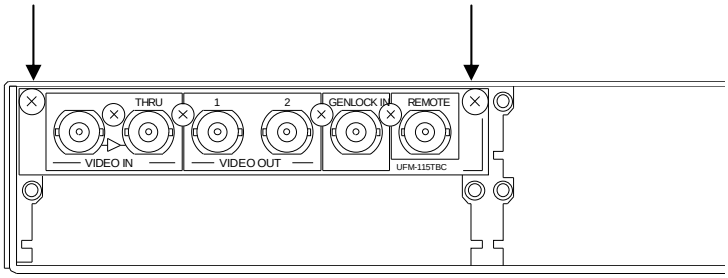
(2) ブランクパネルの取り外し
UF-106B 背面パネルの UFM リアモジュールを取り付けるスロットには、ブランクパネルが取り付けられています。ブランクパネル両側の固定ネジ 2 本を外してブランクパネルを取り外します。取り外したブランクパネルは大切に保管してください。



(3) UFM リアモジュールの挿入
各スロットには、基板ガイドレールがあります。ガイドレールの中に基板を入れて、注意しながら少しずつ挿入してください。

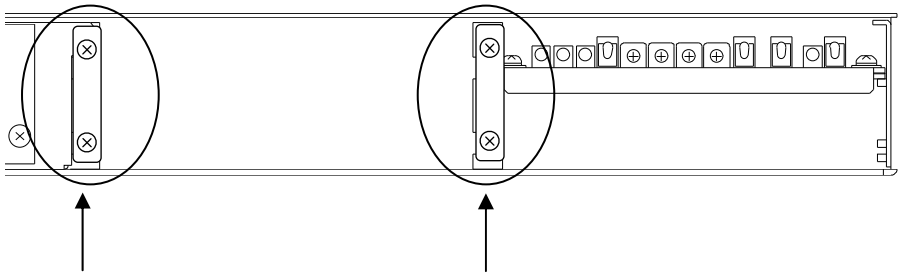


(4) モジュールの固定
UFM リアモジュールに付属の 2 つのネジで左右 2 箇所をしっかりと固定してください。

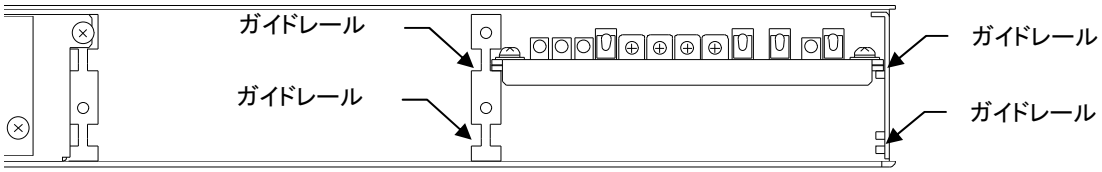


3-1-2. UFM フロントモジュールの取り付け

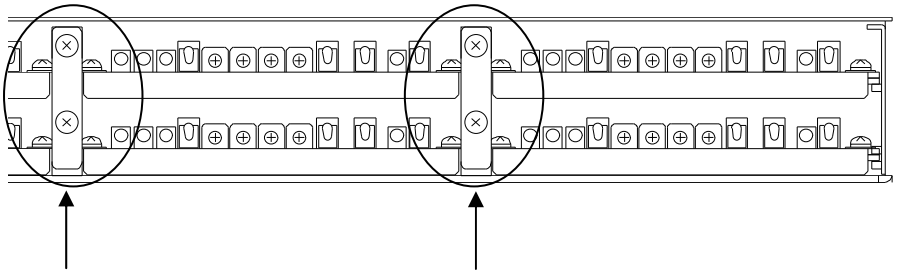
(1) 基板抜け止め金具の取り外し
UF-106B 前面パネルには、スロットの基板抜け止め金具があります。金具を固定している上下 2 本のネジを緩めて、金具を取り外してください。



(2) UFM フロントモジュールの挿入
各スロットには、基板ガイドレールがあります。ガイドレールの中に基板を入れて、注意しながら少しずつ挿入してください。



(3) モジュールの固定
(1)で取り外した基板抜け止め金具を装着します。上下 2 箇所のネジを締めてしっかりと固定してください。



3-2. UFM-30CTL の取り付け

UFM-30CTL は、UFM フレームに組み込んで使用するプラグインモジュールです。
UFM-30CTL を組み込むことにより、UFM フレーム内の基板モジュールの状態をイーサネットを通じて SNMP による監視、または、WEB 画面上で確認することができます。
UFM-30CTL は、空いているどこのスロットに取り付けてもかまいません。スロットに余裕がある場合は、詰めずに間隔を空けた方が、内部の温度上昇を防止し、また背面パネルからの信号の接続作業が行い易くなるなどのメリットがあります。

注意

UFM-30CTL はフロントとリアがセットになっています。フロントモジュールとリアモジュールは、必ず同じ位置のスロットに取り付けてください。

UFM-30CTL フロントモジュールは電源を入れたままの取り付けが可能です。
UFM-30CTL リアモジュール取り付けの場合は必ず電源を OFF にして行ってください。

UF-106B では REMOTE 端子によるシリアル制御または UFM-30CTL を使ったネットワーク制御のいずれかひとつだけ使用することができます。
UFM-30CTL 取り付け後、ネットワーク接続ができない場合は、「3-2-3. 内部設定」を参照して UF-106B の内部設定を変更してください。

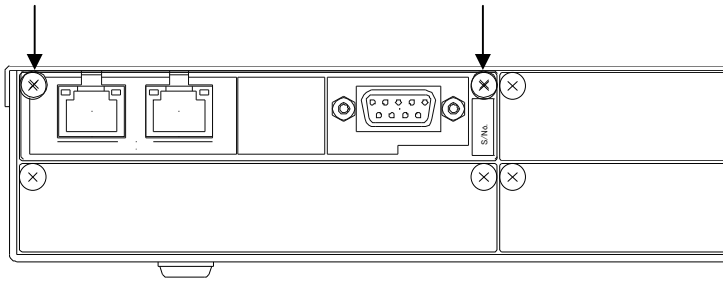
空きスロットにはブランクパネルを必ず付けてください。
異物の混入や、内部温度上昇を防止するなどのメリットがあります。

3-2-1. UFM-30CTL リアモジュールの取り付け

(1) UF-106B の電源を OFF にしてください。

(2) ブランクパネルの取り外し
UF-106B 背面パネルのリアモジュールを取り付けるスロットには、ブランクパネルが取り付けられています。ブランクパネル両側の固定ネジ 2 本を外してブランクパネルを取り外してください。取り外したブランクパネルは大切に保管してください。

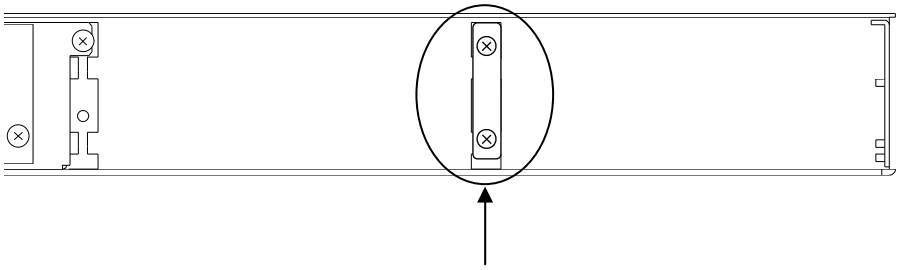
(3) リアモジュールの挿入
各スロットには、基板ガイドレールがあります。ガイドレールの中に基板を入れて、注意しながら少しずつ挿入してください。



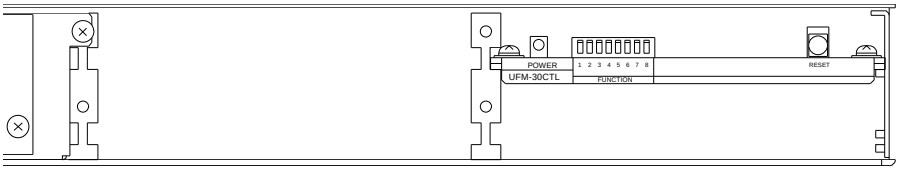
(4) モジュールの固定
UFM リアモジュールに付属の 2 つのネジで左右 2 箇所をしっかりと固定してください。

3-2-2. UFM-30CTL フロントモジュールの取り付け

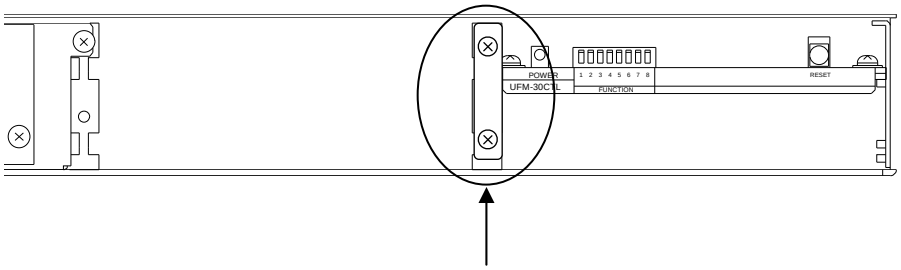
(1) 基板抜け止め金具の取り外し
UF-106B 前面パネルには、スロットの基板抜け止め金具があります。金具を固定している上下 2 本のネジを緩めて、金具を取り外してください。



(2) フロントモジュールの挿入
各スロットには、基板ガイドレールがあります。ガイドレールの中に基板を入れて、注意しながら少しずつ挿入してください。



(3) モジュールの固定
(1)で取り外した基板抜け止め金具を装着します。上下 2 箇所のネジを締めてしっかりと固定してください。

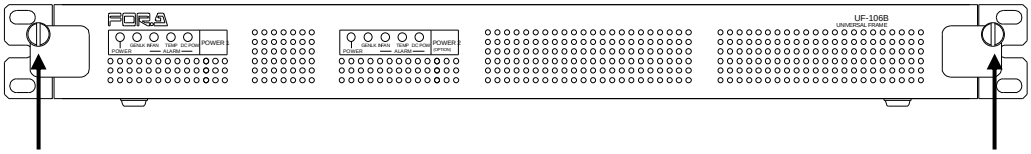


3-2-3. 内部設定

UFM-30CTL 取り付け後、ネットワーク接続ができない場合は電源フロントユニットを外してディップスイッチの設定を変更する必要があります。
下記手順で電源ユニットのディップスイッチ S1 のネットワーク制御を有効にしてください。

注意	UF-106B では UFM-30CTL を使ったネットワーク制御を有効にすると REMOTE 端子によるシリアル制御は使用できなくなります。

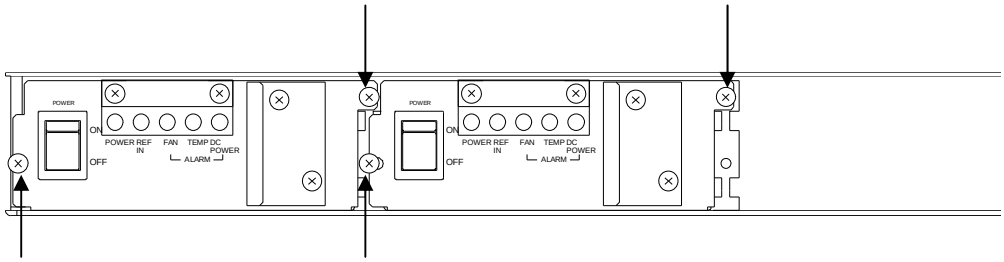
3-2-3-1. 電源フロントユニットの取り外し



(1) フロントパネル前面の 2 個のつまみネジを緩め、つまみネジをつかんでフロントパネルを取り外します。

(2) UF-106B の電源を OFF にします。

(3) 前面にある電源ユニットを固定しているネジ 2 本を外してください。リダンダント電源が実装されている場合は合計 4 本外してください。

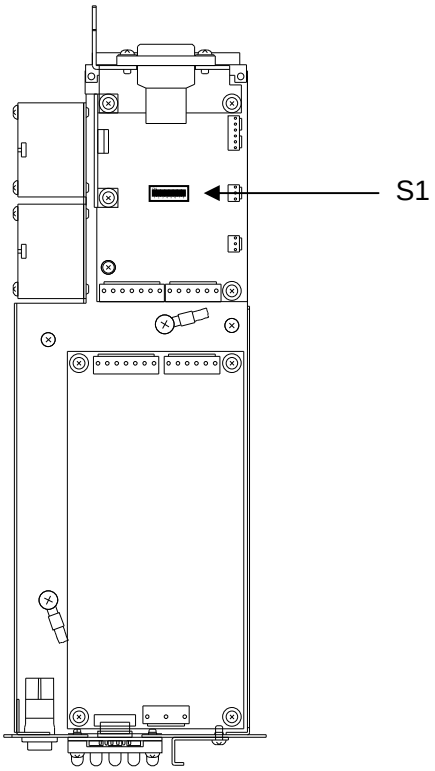


※図はリダンダント電源実装時

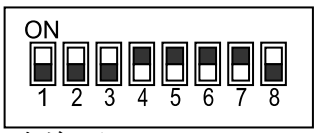
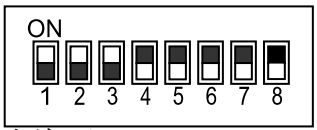
(4) 引き出しレバーをつかみ、注意しながら電源フロントユニットを引き抜いてください。

3-2-3-2. 電源フロントユニットの設定変更

フロントユニットのディップスイッチ S1 の設定を変更してください。リダンダント電源が実装されている場合は標準の電源とリダンダント電源の両方のディップスイッチを変更してください。



◆ ディップスイッチ **S1** 設定

ピン番号	ネットワーク制御 (UFM-30CTL)有効設定	シリアル制御 (REMOTE)有効設定
1	ON	ON
2	ON	ON
3	ON	ON
4	OFF	OFF
5	OFF	OFF
6	OFF	OFF
7	OFF	OFF
8	ON	OFF
—	 白がスイッチ	 白がスイッチ

3-2-3-3. 電源フロントユニットの取り付け

(1) 電源フロントユニットを注意しながら少しずつ挿入してください。
(2) 前面にある 2 本のネジを締めて電源フロントユニットを固定してください。
(3) UF-106B の電源を ON にします。
(4) フロントパネル前面の 2 個のつまみネジをつかみ、ネジを締め付けてフロントパネルを取り付けてください。

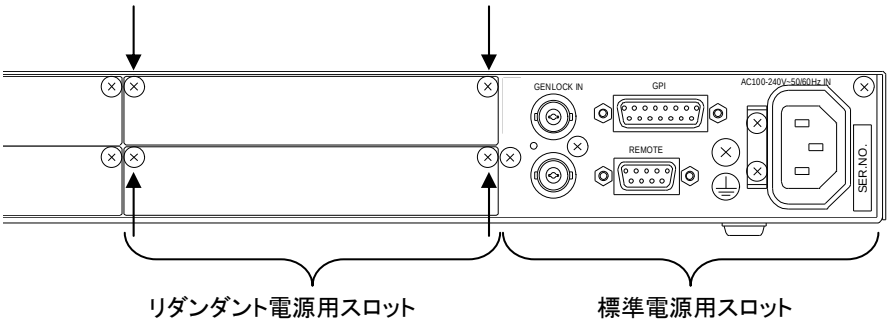
3-3. リダンダント電源（UF-106BPS）の取り付け

UF-106BPS（リダンダント電源）はプラグインタイプのユニットです。背面パネルのスロットのブランクパネルを取り外した後、簡単に取り付けることができます。
UF-106BPS の代わりに UF-106APS を取り付けることもできます。

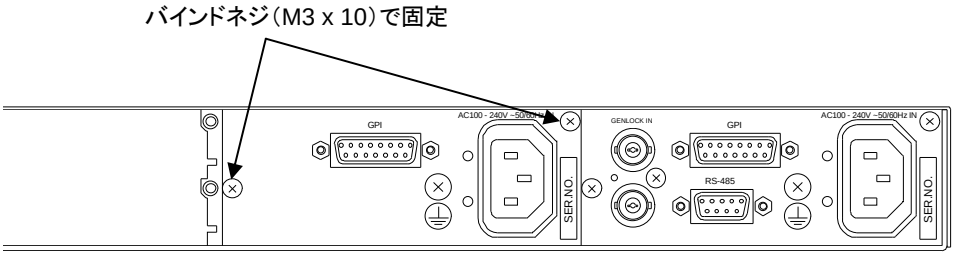
⚠ 注意	感電を避けるため作業する前に必ずアース端子を接地して頂くか、または AC 電源ケーブルを AC 電源コンセントから抜き取ってからおこなってください。 緊急の場合に備え、リダンダント電源は電源を入れたままの取り付けが可能になっています。通常は UF-106B の電源を OFF にして取り付けてください。

3-3-1. リダンダント電源リアユニットの取り付け

(1) ブランクパネルの取り外し
UF-106B 本体背面パネルのリダンダント電源を取り付けるスロットには、ブランクパネルが取り付けられています。ブランクパネルを固定しているネジ 2 本をそれぞれ外して、上下の 2 つのブランクパネルを取り外してください。
取り外したパネルは大切に保管してください。



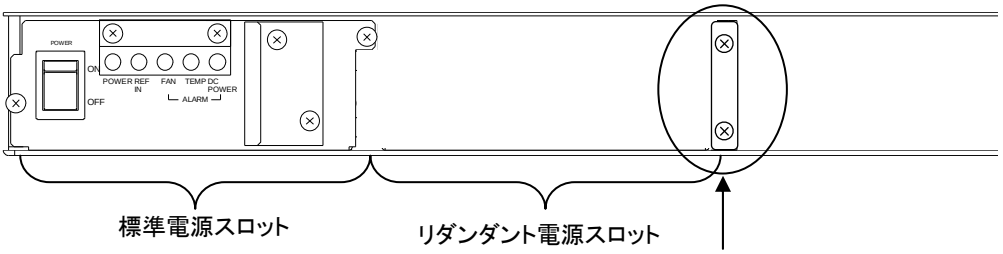
(2) UF-106BPS リアユニットの挿入
UF-106BPS リアユニットを、リダンダント電源用スロットへ、注意しながら少しずつ挿入してください。



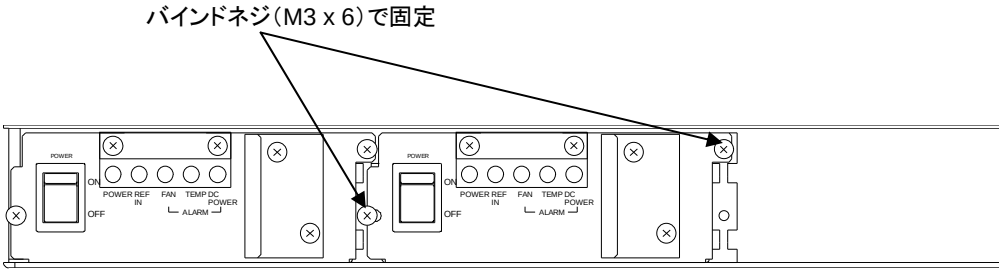
(3) ユニットの固定
付属のバインドネジ(M3 x 10)を使用して、左右 2 箇所をしっかりと固定してください。

3-3-2. リダンダント電源フロントユニットの取り付け

(1) 基板抜け止め金具の取り外し
UF-106B 前面パネルには、スロットの基板抜け止め金具があります。金具を固定している上下 2 本のネジを緩めて、金具を取り外してください。
取り外した基板抜け止め金具は大切に保管してください。



(2) UF-106BPS フロントユニットの挿入
UF-106BPS フロントユニットを、リダンダント電源用スロットへ、注意しながら少しずつ挿入してください。

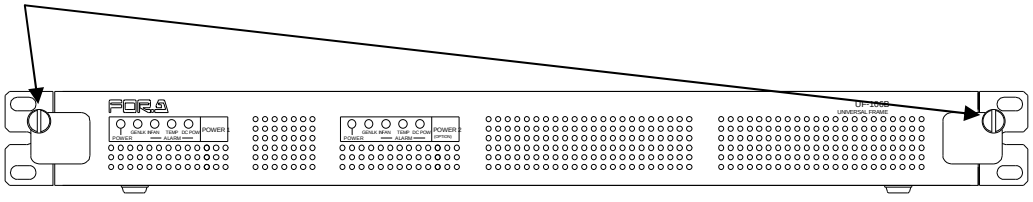


(3) UF-106BPS フロントユニットの固定
付属のバインドネジ(M3 x 10)を使用して、UF-106BPS フロントユニットの前面 2 箇所を固定してください。

注意	電源ケーブルを接続した後に電源ユニット前面パネルの電源スイッチを投入してください。標準電源とリダンダント電源ユニットの両方の電源スイッチを ON にします。両方の電源を ON にしないと、電源故障時に自動的にリダンダント電源に切り換わりません。

3-4. フロントパネルの取り付け

機器を動作させる際は、フロントパネルを取り付けます。
電源スイッチを ON にしてから、フロントパネル前面の 2 個のつまみネジをつかみ、ネジを締め付けて取り付けてください。



4. 仕様と外観

4-1. 仕様

UF-106B

取付可能モジュール	最大 6 枚（UF-106BPS 使用時、最大 4 枚）
ゲンロック入力	BB: 0.429V(p-p) (NTSC)/0.45V(p-p) (PAL) または 3 値シンク: 0.6V(p-p) 75Ω BNC x 1, ループスルー (未使用時は 75Ω で終端してください。)
電源電圧	AC100～240V ±10%, 50/60Hz
消費電力	160VA（AC100V 供給　最大出力電流時）
最大出力電流	DC +24V　5.0A
アラーム出力	D-sub15 ピン メス（電源異常､ファン異常）、 ロックネジ：インチタイプ
外形寸法	482(W) x 44(H) x 365(D)mm
質量	6.2kg（電源ユニット 1 台含む）
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	30%～90%(結露しないこと)
消耗部品（常温 24 時間使用時）	
	冷却ファン：　交換時期 6 年 電源：　交換時期 5 年

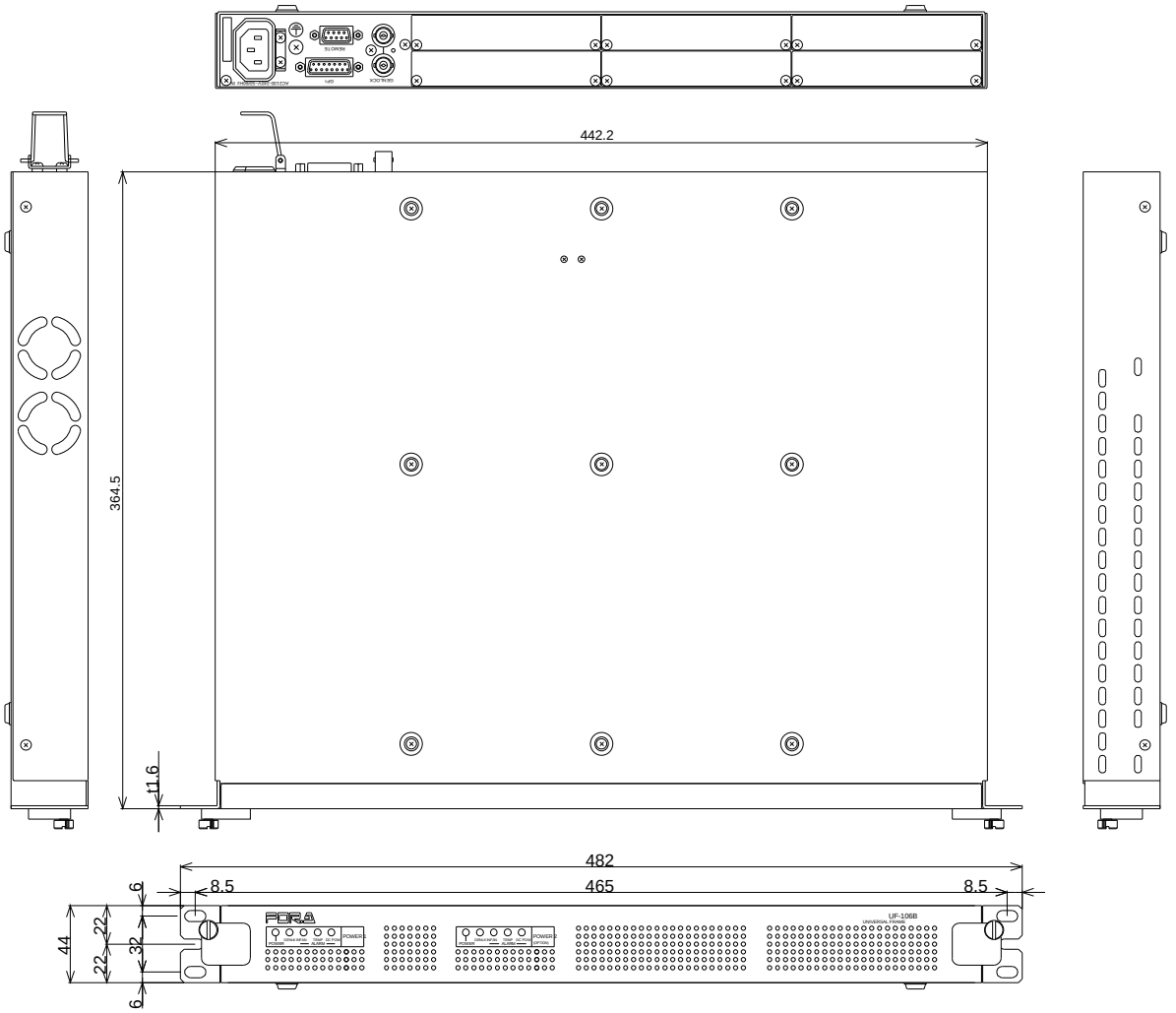
UF-106BPS

電源電圧	AC100～240V ±10%, 50/60Hz
消費電力	120VA（AC100V 供給　最大出力電流時）
最大出力電流	DC +24V　5.0A
アラーム出力	D-sub15 ピン メス（電源異常､ファン異常）、 ロックネジ：インチタイプ
外形寸法	フロントユニット　111.5(W) x 40(H) x 294(D)mm リアユニット　108.7(W) x 41(H) x 72.2(D)mm
質量	1.2kg
使用温度	10℃～40℃
使用湿度	30%～90%（結露しないこと）
消耗部品（常温 24 時間使用時）	
	冷却ファン：　交換時期 6 年 電源：　交換時期 5 年

4-2. 外観

4-2-1. UF-106B

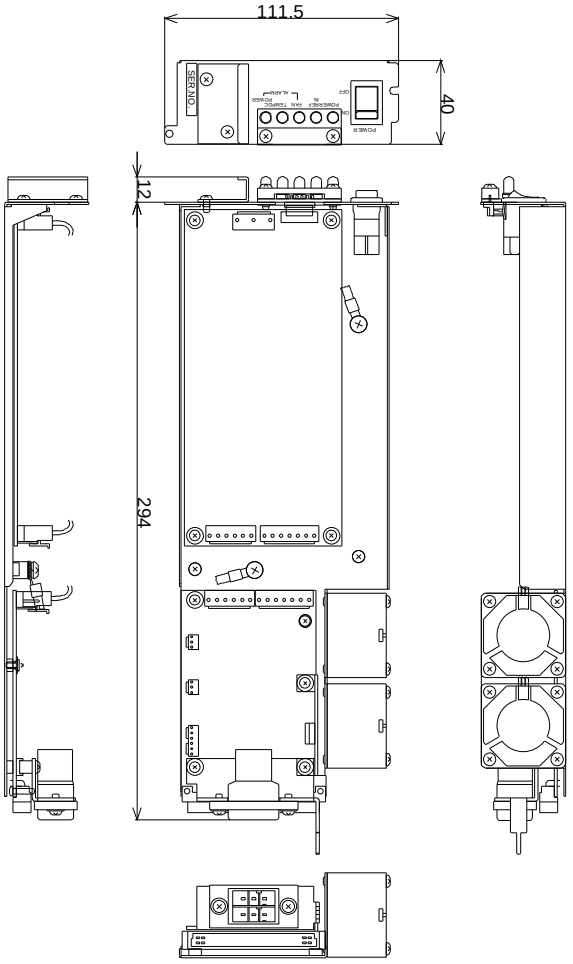
（寸法単位：mm）



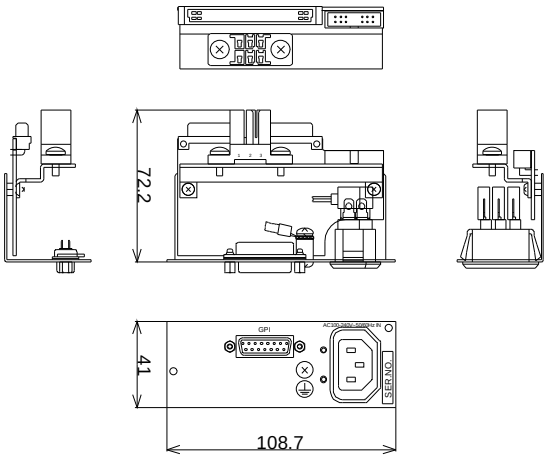
4-2-2. UF-106BPS

（寸法単位：mm）

フロントユニット



リアユニット



2013/02/01 Printed in Japan

サービスに関するお問い合わせは

FOR.A®
INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY

24h
365 days
サービスセンター
03-3446-8575

株式会社朋栄

本　　社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121（代）
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288（代）
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011（代）
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181（代）
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691（代）
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁掘 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591（代）
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591（代）
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178（代）
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230（代）
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018（代）

http://www.for-a.co.jp/